学校番号	T3003

平成３１年度　国語科

教科	国語科	科目	国語総合	単位数	2	年次	1
使用教科書	『明解　国語総合　改訂版』　（三省堂）						
副教材等	なし　適宜参照文献・課題図書を指示						

	年間回数	前期	後期
スクーリング	１２	6	6
レポート	１２	6	6
考査	2	1	1

1 担当者からのメッセージ

・同単位数の定時制科目より授業時間が短いことから、家庭学習（教科書やワークシート・配布物等を用いての予習・復習）は不可欠です。８時間以上出席がない場合、単位が認定されないので注意。

2 学習の到達目標

・基本的な日本語運用能力を高めるため、語彙を増やす。
・自分の意見や感想を正しく聞き手や読み手に伝える能力を身につける。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	予習・復習を怠らず、授業トピックの関連文献や新聞記事等にも進んで目を通す。	要点を押さえてメモを取ることができる。また状況に応じた発話ができる。	目的に応じたレジスターを使用し、適切なスタイルで書くことができる。	多読・精読を計画的に行う。	表記を含め、日本語・日本文化の特色を意識することができる。
主たる評価方法	レポート・記述の点検	スクーリング時の観察	レポートの記述の点検、分析及定期考査	読書記録の点検	レポート記述の確認及分析、定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期	情報の読み方	バーグラフ・パイグラフ・テーブルなどで示された情報を読み取り、それに対する意見や解決策を言語で示す。	○		◎	○		a: 新聞から自分で課題を見つけることができている。 c: まずグラフ等に示される大まかな傾向を理解し、次に細部の情報を読み取り、言語化できている。 d: 本文とグラフを照らし合わせ読解の助けとして理解することができている。	記述の確認、行動の観察と確認、定期考査
	非文学的随想文(1)	【負け方を修得する】 大学入試に頻出する、内田樹の思想を教科書・新聞記事から読み解き、サマリーを書く。	○			○	◎	a: 本文を読み、理解しようとしている。 d: 筆者の主張を捉え、本文の趣旨を理解できている。 e: 随想３点それぞれを 200 点程度でサマライズできた。難度の高い語彙を正しく理解できている。	記述の確認、行動の観察と確認、定期考査
	ブックトーク(1)	予め図書館で借りた本について紹介文と POP を書く。	○		◎	○		a: 自分が気に入った本を予め、その面白さを伝えようとしている。 c: 過不足なく、首尾一貫した紹介文が書けている。面白さや山場をうまく表現できている。 d: 自分で選んだ本について紹介するために予め読み、他者に伝えたい面白さを理解できている。	記述の点検、行動の観察と確認
期後	故事成語	訓読を復習し、併せて現代に生きる古代中国の思想を知る。	○	○			◎	a: 漢文を読み、古代中国の思想を知ろうとしている。 b: 訓読文を明確に音読できている。 e: 訓読法と、ことわざ等の成り立ちを理解している。	記述の点検、行動の観察と確認、定期考査
	俳句	中世の連歌にはじまる俳諧の歴史を理解し、近代俳句の成立事情と発展を理解する。好きな五句を選んで暗誦する。	○	○			◎	a: 俳諧の歴史を理解しようとしている。 b: 好きな俳句をつまらず暗誦できている。 e: 俳諧の歴史と、代表的な季語を理解している。	記述の点検、行動の観察と確認

	ブックトーク(2)	予め図書館で借りた本について紹介文と POP を書く。	○		◎	○		a: 自分が気に入った本を予め、その面白さを伝えようとしている。 c: 過不足なく、首尾一貫した紹介文が書けている。面白みや山場をうまく表現できている。 d: 自分で選んだ本について紹介するために予め読み、他者に伝えたい面白さを理解できている。	記述の確認、行動の観察と確認、定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力　　c:書く能力
d:読む能力　　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について◎を付している。